

脱炭素先行地域 中間評価報告票

提案者名	大潟村	
共同提案者名		
選定回	第1回	
重点選定モデル①		
重点選定モデル②		

【先進性・モデル性の類型】

地域課題解決	農業振興（稲作）、資源循環
地域脱炭素の基盤創出	地域エネルギー会社との連携
需要家・エリア設定	大学、その他（需要家・エリア設定）
創出する再エネの種類・導入技術等	熱利用、高度なエネマネ（VPP、DR、MG、大型蓄電池等）

交付金の交付を受けて交付対象事業が開始された年月	2022/5/11
--------------------------	-----------

1. 基礎情報（計画の変更箇所）
【令和4年度進捗状況報告票】より 令和4年度は計画変更なし 【令和5年度進捗状況報告票】より ■令和5年9月に交付金事業計画の変更を実施 ・サンルール大潟含む3施設について、オンサイトPPA事業→オフサイトPPAへ変更 ・サンルール大潟含む3施設について、自営線事業を追加 ■令和6年3月に提案書及び交付金事業計画の変更を実施 ・太陽光発電事業（自家消費型オンサイトPPA/オフサイトPPA）にかかる電力需要量と再エネ電力供給量の変更並びに対象施設の追加 ・太陽光発電事業（系統連携型オフサイトPPA）にかかる内容の変更 ・先行地域対象エリアの拡大 ・一部事業における事業実施主体の変更 ・公営住宅（1期・2期・3期）の太陽光パネル設置の断念と4期の設置検討について ・ZEB実施施設の変更 ・施設の省エネ化について、ZEBと平行し高効率照明機器（LED化）を追加

<選定当初の計画値との比較>

種類	(E) 現在の 計画値	(F) 選定当初の 計画値	(E)－(F) 現在と 選定当初の 計画値の 比較
民生部門の電力需要量（kWh/年）	8,614,316	8,275,857	4.1%
再エネ等の電力供給量（kWh/年）	10,151,710	12,440,470	-18.4%
省エネ等による電力削減量（kWh/年）	65,320	1,497,570	-95.6%
自家消費等の割合（％）	33.8%	34.5%	-0.7%
「再エネ等の供給量の合計」のうち先行地域のある 地方公共団体内で発電する再エネ電力量の割合（％）	100.0%	100.0%	0.0%

2-1.中間評価実施時点までの「実質ゼロ」の達成率

再エネ等の電力供給量 (A)

(

0	(%)
0	(kWh/年)

)

+

省エネによる電力削減量 (B)

(

0	(%)
0	(kWh/年)

)

÷

民生部門の電力需要量 (C)

(

8,614,316	(kWh/年)
-----------	---------

)

=

0	(%)
---	-----

種類	民生部門の 電力需要家	数量	電力需要量 (kWh/年)	再エネ等の供給量(kWh/年)				省エネ等 による 電力削減量 (kWh/年)	CO2 排出削減量 (t-CO2)	備考	
				内訳							合計
				自家消費等	相対契約	再エネ メニュー	証書				
民生・家庭	戸建住宅	100	600,000					0	0	0	
	その他 (村営住宅)	16	66,000					0	0	0	
民生・ 業務その他	オフィス ビル							0			
	商業施設							0			
	宿泊施設							0			
	その他	11	4,059,824					0	0	0	
公共	公共施設	12	3,888,492					0	0	0	
	その他							0			
合計			(C) 8,614,316	0	0	0	0	(A) 0	(B) 0	0	

2-2.中間評価実施時点における新規再エネ導入量

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	累計
0	0	0							0

※対象年度中に導入完了した、先行地域事業による新規再エネ設備について記載してください（交付金充当の有無は問いません。）。

3.電力需要家との合意形成の状況

■住宅

No	施設名	対象施設数	合意形成進捗度	今後の合意形成のスケジュール
1	一般戸建て住宅	100	C	事業の内容について周知し、要望調査を実施
2	村営住宅	1	D	所管課において建設の検討を実施中。入居条件となるため合意形成は不要。

■業務その他

No	施設名	対象施設数	合意形成進捗度	今後の合意形成のスケジュール
1	県立大学学生寮	1	C	事業概要について説明済みも、最終合意(売電契約)にハードルの見通し。
2	カントリーエレベーター（中央）	1	C	事業概要について説明済みも、最終合意(売電契約)にハードルの見通し。
3	カントリーエレベーター（西側）	1	C	事業概要について説明済みも、最終合意(売電契約)にハードルの見通し。
4	土地改良区事務所	1	C	事業概要について説明済みも、最終合意(売電契約)にハードルの見通し。
5	秋田銀行大潟村支店	1	C	事業概要について説明済みも、最終合意(売電契約)にハードルの見通し。
6	JA会館	1	C	事業概要について説明済みも、最終合意(売電契約)にハードルの見通し。
7	ボイラ建屋・事務所	1	D	事業概要について説明済みも、最終合意(売電契約)にハードルの見通し。
8	ライス秋田	1	C	事業概要について説明済みも、最終合意(売電契約)にハードルの見通し。
9	農協資材倉庫等	1	C	事業概要について説明済みも、最終合意(売電契約)にハードルの見通し。
10	餃子工場	1	C	事業概要について説明済みも、最終合意(売電契約)にハードルの見通し。

■公共

No	施設名	対象施設数	合意形成進捗度	今後の合意形成のスケジュール
1	ルールル大潟/ポルダー潟の湯/ふれあ	3	A	令和6年11月末の完工を予定。
2	ひだまり苑	1	A	再エネ電力の使用にかかる基本合意は締結。
3	大潟小学校・中学校	1	A	大潟村と再エネ電力の使用にかかる基本合意締結。
4	大潟子ども園	1	A	大潟村と再エネ電力の使用にかかる基本合意締結。
5	大潟村役場庁舎	1	A	大潟村と再エネ電力の使用にかかる基本合意締結。
6	大潟村診療所	1	D	大潟村と再エネ電力の使用にかかる基本合意締結。
7	大潟村保健センター	1	D	大潟村と再エネ電力の使用にかかる基本合意締結。
8	村民センター	1	D	大潟村と再エネ電力の使用にかかる基本合意締結。
9	村民体育館	1	D	大潟村と再エネ電力の使用にかかる基本合意は締結。
10	大潟村浄水場	1	D	大潟村と再エネ電力の使用にかかる基本合意締結。
11	汚水第3ポンプ場	1	D	需要量僅少につき、実施しないこと方針。
12	道の駅・干拓博物館	2	D	大潟村と再エネ電力の使用にかかる基本合意は締結。

4-1.民生部門の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロの実現に向けた進捗状況

【再エネに係るもの】

■取組１：公共施設等への太陽光発電設備・蓄電池の設置

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程		設計		設計	設計	設計				
				工事	工事	工事	工事				
	目標値 (単位:t)	単年度			560	413	914				
		累計			560	973	1,887				
状況	工程		設計								
				工事							
	実績 (単位:t)	単年度			0						
		累計			0						

取組概況	令和５年度は、公共施設５施設の実施設計及び温泉等３施設（受電１箇所）へ１期工事としてパネルを設置した。６年度の２期工事完工にて発電が行われる。
------	---

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3~5行程度で記載してください。

【再エネに係るもの】

■取組２：遊休地等における大規模太陽光発電導入事業

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程		各種調整			設計	設計				
						工事	工事				
	目標値 (単位:kWh)	単年度				3,000	3,000				
		累計				3,000	6,000				
状況	工程		各種調整								
	実績 (単位:kWh)	単年度									
		累計									

取組概況	１ 令和５年度は、設置容量の再検討を行い計画変更を行った。また、東北電力NWへ接続検討申込を実施しノンファーム1,999kWでの回答があった。 ２ 令和６年度は、2025年1月までに東北電力NWへ系統連携申込を行う予定。同申請に必要なとなる基本設計については、現在進めている状況。 ３ 本事業における小売電気事業者には、「東北電力」を想定。同社協力を得られるよう協議の準備を実施している。
------	--

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3~5行程度で記載してください。

【再エネに係るもの】

■取組３：一般住宅向け太陽光発電・蓄電池設置

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程		事前周知			工事	工事				
						250	250				
	目標値 (単位:○)	累計				250	500				
状況	工程		事前周知								
	実績 (単位:○)	単年度									
		累計									

取組概況	令和５年度は、年度末の計画変更に先だって、住民へ補助内容の説明を行った。 ９月時点で２５件の要望があった。引き続き周知を行い希望者を募っていく。
------	---

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3~5行程度で記載してください。

【省エネに係るもの】

■取組 1：自治体関連施設のZEB化

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程					設計	設計				
						工事	工事				
	目標値 (単位:t)	単年度					1410				
		累計					1410				
状況	工程										
	実績 (単位:t)	単年度									
		累計									
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計									

取組概況	令和 6 年度当初予算にて、財源確保の目処が立たず設計費の計上が出来なかった。昨今の物価上昇による経常経費の増加や、15年後の国営かんがい排水事業の村負担分が30億円ほど増加となる見込みであることから、現状も財源確保の目処は立っていない。
------	---

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3~5行程度で記載してください。

■取組 2：公共施設への高効率照明導入（LED化）

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程				設計						
						工事					
	目標値 (単位:t)	単年度				25.3	39.6				
		累計				25.3	64.9				
状況	工程										
	実績 (単位:t)	単年度									
		累計									
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計									

取組概況	小・中学校において実施設計に着手した。体育館以外の施設については、令和 7 年度実施に向け調整していく。
------	--

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3~5行程度で記載してください。

4-2.民生部門電力以外の温室効果ガス排出削減等の進捗状況

■取組①：バイオマス熱供給事業

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程			設計		運用データ 収集	設計				
				工事	工事		工事				
	目標値 (単位:t)	単年度			912	0	912				
		累計			912	0	1825				
状況	工程			設計							
				工事	工事						
	実績 (単位:t)	単年度			0						
		累計			0						
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計									

取組概況	7 月の稼働に向け、 2 期工事は令和 6 年度早々に着工。 7 月にハード的に竣工したものの、ソフト面の調整や軽微な不良の調整を行っており、 1 0 月に最終引き渡しとなる見込み。次段階（ボイラ3基、4基の導入）の実現に向けては、現時点での熱供給事業の運用状況等を把握が必要と判断している。特に、熱供給動向（需給状況）、プラントの維持管理、原材料の確保、もみ殻燐炭の域内還元 の状況等である。
------	--

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3~5行程度で記載してください。

■取組②：公用車のEV化

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程				車両の導入 						
	目標値 (単位:t)	単年度			1	3	3				
		累計			1	4	7				
状況	工程										
	実績 (単位:t)	単年度			0						
		累計			0						
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計									

取組概況	9月補正にてEV車両2台及び役場車庫への再エネ発電設備設置予算を計上。無事可決されたため、年度内に導入を行う。
------	---

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3～5行程度で記載してください。

5-1.共通KPIの進捗状況

■指標：脱炭素先行地域における域外へのエネルギー代金流出抑制額

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		0	0	17,033,803	27,656,659	104,102,996	224,060,418	224,060,418	224,060,418	224,060,418
	累計		0	0	17,033,803	44,690,462	148,793,458	372,853,876	596,914,295	820,974,713	1,045,035,132
実績	単年度		0	0							
	累計		0	0							

5-2.個別KPIの進捗状況

■指標 1：村全体の地域経済循環指数GRPの改善

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		-	-	-	-	186				
	累計		177	177	-	-	186				
実績	単年度		177	177							
	累計		177	177							

実績詳細	・PV設備、熱供給設備の導入が完了しておらず、まだ稼働していないため実績は無し。 報告の際に気がついたが、GRPについては、国の統計調査による数値で算出されるため、リアルタイムでの確認が出来ないため、共通KPIが設定されたこともあり、KPIから削除し、新たに事業の横展開を踏まえ、視察受入数（年間、R6:20.R7:15、R8:10件）を設定したい。
------	--

■指標 2：大潟村の民生部門の年間電力量に占める村内の再エネ電源発電量の割合

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		-	-	-	-	100%				
	累計		-	-	-	-	100%	100%	100%	100%	100%
実績	単年度		4%	4%							
	累計		4%	4%							

実績詳細	・新規PV設備の導入が完了しておらず、まだ稼働していないため実績は無し。
------	--------------------------------------

■指標 3：大潟村の避難所における再エネ電源を活用した非常用電源の整備割合

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	-	-	-	-	100%				
	累計	-	-	-	-	100%	100%	100%	100%	100%
実績	単年度	0%	0%							
	累計	0%	0%							

実績詳細	・逆潮流を防止した蓄電システムを災害時に稼働させる場合、別途特定の回路を組む必要があり、簡単にはいかない事が分かり、対応を検討中。車載型蓄電池等もうまく活用し災害対応可能な非常用電源整備に努めていく。
------	--

■指標 4：熱消費量に占める再エネ熱供給量の割合

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	-	-	-	-	40%				
	累計	-	-	-	-	40%	40%	40%	40%	40%
実績	単年度	0%	0%							
	累計	0%	0%							

実績詳細	・熱供給設備の導入が完了しておらず、まだ稼働していないため実績は無し。
------	-------------------------------------

■指標 5：もみ殻の有効利用率

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	-	-	-	-	50%				
	累計	-	-	-	-	50%	50%	50%	50%	50%
実績	単年度	30%	30%							
	累計	30%	30%							

実績詳細	・熱供給設備の導入が完了しておらず、まだ稼働していないため実績は無し。
------	-------------------------------------

■指標 6：大潟村の脱炭素関連の雇用者数

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	-	-	-	-	-				
	累計	-	-	-	-	5	5	5	5	5
実績	単年度	2	1							
	累計	2	3							

実績詳細	・R5年度に地域おこし協力隊として1名採用。
------	------------------------

6.事業実施体制の現状

事業	事業者名	調整・協議状況 (設立準備、一般送配電事業者との協議等)	今後の進め方、課題	投資回収年数(年)
PPA事業	株式会社オーリス	1 公共施設：再エネ導入について基本合意済み 2 民間施設：事業説明に留まっている。	1 公共施設：事業継続性の確認→設備投資 2 民間施設：中長期的な契約が課題。	20
再エネ発電事業	株式会社オーリス	1 系統連携：接続検討申込手続き完了 2 小売電気事業者：東北電力との協議を予定。	1 系統連携：基本設計→連携申請 2 小売電気事業者：東北電力との協議準備	-
小売電気事業 (地域新電力)				
送配電事業				
都道府県				

※必要に応じて行を追加・削除してください。

※投資回収年数については、脱炭素先行地域づくりにおける主要な事業について、事業者ごとに計上してください。

例えば、個別住宅各戸におけるオンサイト太陽光発電導入事業について個別の投資回収年数の提示は不要です。

7.事業継続性（横展開の可能性等の観点を含む）の見込みについて

事業継続性 の見込み
・もみ殻バイオマス熱供給事業では、主要設備の法定耐用年数(20年前後)に従い、事業期間を20年とし収支計画を策定。売上面では、(株)オーリスが、需要家と20年間の固定価格による売熱契約を締結し中長期的な収入を確保している。売熱単価については、20年間の諸経費等のコストを逆算して設定しており、現時点では事業継続に懸念ないものと判断している。加えて、本事業で発生する「もみ殻くん炭」は、農地への炭素固定を通じた間接的な脱炭素を狙い、大潟村内での販売を検討している。販売価格は検討中ながら、本分収益が熱供給事業の安定性を下支えする要因として考えている。本事業の実現は大潟村の特殊性によるところも大きいが、蓄積したノウハウについては、当村と同様の課題を抱える自治体に展開することで、もみ殻バイオマス熱事業の普及に努めたい。 ・太陽光発電事業では、太陽光パネルの法定耐用年数17年をベースに、事業期間を20年とし収支計画を策定。売上面では、(株)オーリスが、需要家と20年間の固定価格による売電契約を締結し中長期的な収入を確保している。売電単価については、20年間の諸経費等のコストを逆算して設定しており、現時点では事業継続に懸念ないものと判断している。 ・蓄電池を活用したPV事業においては、その運用・維持管理のノウハウ等について、他自治体へ積極的な横展開を図っていきたい。

自治体内外への横展開に向けた方針の検討状況について
他の自治体等からの視察依頼については、ここ1年間で10件以上の実績があり、10・11月にも7件の予定が入っている。 引き続き、可能な限り受入を行い、横展開に繋がるよう丁寧な対応を心がけ受け入れている。 また、KPIを見直し新たに視察等の受入について設定し、力を入れていく。 【横展開に向けての意見】 横展開については、物価上昇や賃金の底上げにより、採算性は悪化の傾向にあるため、新たに事業を実施する場合は何らかの補助や地方債による財源が必要ではないかと考える。

8.地域の将来ビジョンへの位置づけの状況
2050年までにカーボンニュートラルを目指す「自然エネルギー100%の村づくりへの挑戦」を掲げ各種事業に取り組んでいる。